

番号	質問の出た日	質問	回答
各説明会共通			
1		- 園名について	移転後の幼稚園の名前や現在の久松幼稚園の取扱いについては、まだ決まっていません。教育委員会が現在皆様に報告し、地域の了承を得ながら進めたいと思っていることは、久松小学校の教室を確保すること、久松幼稚園を常盤幼稚園等のスペースを使って移転することの方針です。名前については、この方針を決めるにあたりいくつか考えたものの、教育委員会で「この名前をお願いします」といっても簡単にはご理解いただけないと考えています。どちらも本区を代表する屈指の伝統校であり、「常盤幼稚園の復活をお願いしたい」「久松幼稚園をなくさないでほしい」という声もあります。今後、調整していくなかで、双方がご納得いただけるような案を検討したいと考えています。
2		- 移転の時期について	(回答は現在決定している内容と異なります) 説明会を重ねていく中で、順次移転・一括移転についてご意見を多数いただいています。教育委員会では、まず入園と卒園が同じ場所であるほうが保護者の希望に沿うのではないかと考え、説明をしています。一方、兄妹の問題や、異年齢交流ができないことで年長だけだと寂しいという話もいただいているところです。これについては、もともと順次移転を行う場合に常盤幼稚園のスペースに入園した幼児との交流事業を行うことや、単独で学年として残った場合のメリットもあるだろうと、幼稚園教諭とも協議しながら検討しています。いずれにしても、最終的には、中央区の幼児教育としてどちらの場合でもしっかりとフォローできるように選択をしていきます。
3		- 通園方法について	幼稚園への通園にあたりバスを配車し、通園方法は原則として徒歩またはバスとする方向で検討しています。久松幼稚園の通園区域内での停留場所の設置や、停留場所での安全のため、今後関係警察署や道路管理者、地域の方と調整してまいります。また、バスでの通園にあたっては、添乗員を配置し、乗降時や車内の安全を確保する必要があると考えています。
移転後の幼稚園について			
1	5月17日	移転後の幼稚園の学級編制と定員はどのようになりますか。	保育室が6室になります。現在の久松幼稚園の3歳児が70人入れるところ、移転後の幼稚園は50人となりますので、定員は1学年50人ずつ計150人となります。
2	5月17日	日本橋幼稚園や有馬幼稚園が満員となり久松幼稚園に入園する方には、どのように対応する予定ですか。	日本橋幼稚園・有馬幼稚園ともに定員以内での入園希望者で推移しており、特に今年度は3歳児の数が例年より少ないため、この傾向が続くようであれば今のところ是对応できると考えています。
3	5月17日	日本橋小学校や有馬小学校の通学区域で人口が増加し小学校の普通教室が足りなくなった場合は、日本橋幼稚園や有馬幼稚園も移転させるのですか。	日本橋小学校や有馬小学校でも普通教室が不足した場合には、通学区域の変更を検討する必要があると考えています。また久松小学校の通学区域で想定以上の人口増加があった場合も、通学区域の変更を検討する必要があると考えています。ただし、通学区域の変更をする場合、城東小学校や常盤小学校、もしくは京橋地域の小学校も含めた再編が必要なため、影響が大きく、慎重な検討が必要だと考えています。
4	5月18日	久松幼稚園は、人口増加のピークが過ぎれば、また現在の場所に戻りますか。	お見込みのとおりです。10年か20年程度先になるかはわかりませんが、現在地で再整備したいと考えています。今後、小学校の児童数がどのように推移するかや、常盤小学校の通学区域は人口が少ない地域であること、保育園需要とのバランスもありますが、久松幼稚園の歴史も踏まえ、今後無くすということは考えていません。
5	5月29日	・久松幼稚園移転後、これまでの久松地域との行事などは、引き継がれるのですか。 ・移転後の幼稚園の行事や教育方針は、久松幼稚園のものが引き継がれるのですか。	久松幼稚園で培った、3年間の発達に応じた特色ある教育は、大事であると認識しています。中央区立幼稚園としては、しっかり3年間の保育のなかで幼児に経験をさせていきたいと思えます。例えば、地域の方と協力した行事がたくさんあります。幼児にとって地域の方と関わることは、多くの方に見守られているということや、人との関わりが良いものであることを認識できることから、保護者ではない方々との交流として気持ちの醸成に大事なものだと考えています。常盤幼稚園のスペースであっても、久松小学校に入学するお子さまたちになるため、久松の地域との交流は閉ざしたくないと思えます。具体的にどのような形で行事や日々の年間計画はこれから検討することとなります。しっかり発達に応じた教育活動ができるよう取り組んでいきたいと考えています。

番号	質問の出た日	質問	回答
			<ul style="list-style-type: none"> ・教員の配置は区で考えていきますが、基本的には久松幼稚園の教員がそのまま引き継ぎます。 ・幼稚園教育要領に基づく教育を前提としつつ、プラスアルファの特色を出していくことを考慮し、幼児にとって小学校就学前の段階でより良い経験をし、良い基礎を培っていった上で、小学校に上げられるようにしていきたいと思えます。
移転後の通園方法等について			
1	5月17日	久松幼稚園が移転した場合、日本橋幼稚園に通うことはできますか。	日本橋幼稚園と久松幼稚園の調整区域にお住まいの方は日本橋幼稚園に通うことができます。調整区域外にお住まいの方は、まずは移転した久松幼稚園に申し込んでいただくことを考えていますが、ご意見を踏まえながら検討していきます。一括で移転する場合、定員が変更するため、各幼稚園で令和4年度の新入園児募集を行うまでに、方針をお知らせします。
2	5月17日	日本橋幼稚園と久松幼稚園の調整区域に住んでいますが、兄妹で同じ幼稚園と小学校に通わせるため、今から日本橋幼稚園に転園することはできますか。また、今後の日本橋小学校・幼稚園の推計を教えてください。	検討いたします。質問6番と同様の時期までに方針をお知らせします。今後の見通しについては、現在のところ有馬、日本橋、久松幼稚園の3園のいずれかで、日本橋地域の幼稚園を希望する方は入園できると見込んでいます。
3	5月18日	日本橋小学校と久松小学校の調整区域に住んでいますが、移転後の幼稚園を卒業した場合、そのまま常盤小学校に通うことになりますか。	常盤小学校の特認校は継続していきたいと考えているため、現在のところ卒業理由による常盤小学校への入学は認めず、常盤の通学区域にお住まいの児童は常盤小学校、久松小学校の通学区域にお住まいの児童は久松小学校に入学していただく予定です。
4	5月28日1回目	移転後の幼稚園を卒業した場合、そのまま常盤小学校に通うことになりますか。	常盤小学校の特認校は継続していきたいと考えているため、現在のところ卒業理由による常盤小学校への入学は認めず、常盤の通学区域にお住まいの児童は常盤小学校、久松小学校の通学区域にお住まいの児童は久松小学校に入学していただく予定です。
5	5月28日1回目	区立幼稚園の入園を初めて検討しています。常盤小学校内の幼稚園スペースで見学の機会や説明会はありますか。	区立幼稚園では、年に何回か未就園児やその保護者の方に園の様子を見学できる機会を設けています。また、各幼稚園の大きな行事や普段の様子などは、ホームページでも見ることができます。一方で、移転後の幼稚園の保育室でどのような活動が行われるのかイメージが湧かない部分があるかと思えます。それについては、お子様に安心して入園いただけるよう今後検討してまいります。
6	5月29日	令和6年度に一括で移転するのか、順次移転するのか、保護者が自由に選ぶようにすることはできないのですか。	一括移転の場合、小学校の拡張工事の期間の取り方など小学校運営にあたってのメリットがあります。一括移転か順次移転かのどちらかを選択できるようにする場合、幼稚園の学級数を維持していくための最低人数がありますので、どのように保護者の方が選択するか、行政として計画が立てにくいため、一定程度判断が必要になってくるかと考えています。
7	5月29日	現段階で、一括移転と順次移転のどちらの可能性が高いですか。	(回答は現在決定している内容と異なります) ・令和4年度入園案内のタイミングまでには決めたいと考えています。 ・これまでの説明会のなかでは、兄妹を同じ場所に通わせたいという意見も多いです。兄妹関係の問題や異年齢交流の問題の解決策として、一括移転が良いという判断もあると考えています。
工事等について			
1	5月17日	久松幼稚園のスペースを小学校にする工事は、どのように行われますか。	工事は基本的に夏休みの長期休暇期間中など、児童がいないときに集中的に行います。ただし、改修する工事の内容、例えば幼稚園の保育室を小学校の普通教室にするのであれば短い期間で工事ができますが、特別な設備が必要な家庭科室などの特別教室に改修する場合には、その部分だけ平日も工事せざるを得ないと考えています。工事内容・順序については、増加する人数も踏まえながら検討していきます。

番号	質問の出した日	質問	回答
2	5月28日1回目	幼稚園のあった場所を小学校に転用するにあたって、どのような工事をするのですか。また、どのくらいの期間を予定していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室を、現状の28から36に増やします。あわせて、それだけの学級数になると、図工室や理科室という特別教室と呼ばれる教室も必要となりますので、普通教室及び特別教室を増やしていく工事となります。ただ、どこから工事を始めるかについては、移転の方法によって若干変わります。段階的に移転する場合、移転した教室から順次工事をしていきます。また、幼稚園エリアをどこに残すのかで変わります。 ・工事は、基本的に児童・幼児がいない夏休みに行います。一括で移転して夏休みのまとまった期間を確保できれば、令和6年度の夏休みにある程度工事を行うこととなります。今後、一括か段階的での移転を検討していくなかで、工事の方法・順番を決めていきます。
代替案等について			
1	5月17日	35人学級化の開始時期を延ばしてもらうことで対応することはできませんか。	35人学級化は、法律により義務化されているため、中央区としても国の定める法律の範囲のなかで対応していきます。
2	5月17日	久松幼稚園の移転先として、久松区民館の敷地の活用を検討するにあたり、今の久松幼稚園の面積と、久松区民館の面積を教えてください。	久松小学校・幼稚園のうち、幼稚園部分は約1,500㎡あります。久松区民館の敷地面積は約300㎡です。敷地限界まで建築した場合、5階・6階を作らなければなりません。しかし、国の幼稚園設置基準では、幼児が利用する部分は1階または2階のみ、かつ、地上部分の園庭が必須としているため、区民館を活用するのは難しいという結論になりました。
3	5月28日1回目	小学校の調整区域を廃止して久松小学校の児童数を減らすことに加え、幼稚園を2年保育として園児数を減らすことで対応できないのですか。	<p>調整区域を廃止した場合、日本橋小学校・有馬小学校についても、普通教室が不足することになります。現状の調整区域を含めた形で小学校の児童数の推計はしており、調整区域では久松小学校に入る児童が多い状況のなかで、その児童が日本橋小学校・有馬小学校に入学する場合、今度はその2校の児童数が溢れることとなります。両校とも増改築をするスペースが確保できないような状況で、1つや2つのクラスであれば例えば今利用していない教室や、他の用途で利用している部分を小学校の教室として利用することは可能ですが、調整区域の児童が全員来ると、久松小学校と同じような状況が起きてしまいます。そのため、通学区域は維持していくと考えています。</p> <p>2年保育については、現在中央区では泰明幼稚園のみ2年保育ですが、当該園は保育室が2室しかないという理由があります。2年保育を行う場合、3歳の間に過ごす場所を確保する必要があります。</p>
4	5月28日2回目	子どもの数が増えているなか、中央区で35人学級化を適用するのはかなり無理があると思います。それに対して、東京都や国に意見を言うことはできないのですか。	「中央区ではできません」という意見は出していません。35人学級化は、法律により義務化されているため、中央区としても国の定める法律の範囲のなかで対応していきます。5年の経過措置はあるものの、現実問題として「ここまで待っていただければ叶うことができます」というようなことは、今後、東京都や国にお願いすることがあるかもしれません。
5	5月28日2回目	民間敷地を活用して近接地に久松幼稚園を設置できない理由として、令和6年度までに設計・建設工事ができないためという説明がありました。具体的に教えてください。	令和6年度までに幼稚園の幼児の過ごす場所を作るということは、やや役所的なスケジュール感ということはあるかもしれませんが、設計をして、建物が建っている場合はそれを壊してその敷地に建てていくということは、難しいと考えています。
6	5月28日2回目	久松幼稚園の募集人数を減らすことで規模を縮小し、その代わりにいま休園している幼稚園を再開するような案は考えられないのですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区では昨年度まで、昭和幼稚園(城東小併設)、阪本幼稚園、常盤幼稚園の3園を休園にしていました。 ・昭和幼稚園は、小学校の再開発により建物がなくなっており、今後は民設民営の保育所型のこども園ができる予定です。幼稚園とは異なる施設になりますので、久松幼稚園の幼児をそのままこども園に入れるのは厳しいと考えています。 ・阪本幼稚園は、阪本こども園が今年4月1日に開園したことに伴い、廃園となりました。

番号	質問の出した日	質問	回答
園児推計・児童推計等について			
1	5月18日	常盤小学校や久松小学校の通学区域内に住む幼児の数の推計を教えてください。	<p>・常盤小学校の通学区域に住む児童の数は、今後も増加傾向ではないと想定しています。</p> <p>・久松小学校の通学区域は、小学校であと8クラス不足する状況です。現在も続くマンション建設によりさらに転入者が増え、お子さまを産んで、その子が幼稚園・小学校に入るといように、今後も小学校児童が増える要素はあると考えています。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で閉鎖した事業所の跡地がマンションになるなど、久松小学校の通学区域内で教育委員会の想定以上に人口が増えてしまった場合には、日本橋地域全体で通学区域を変更をしていかなければいけない可能性があるということに、ご留意いただければと思います。久松小学校に入学するためにこの周辺にマンションを購入している方もいらっしゃるのですが、教育委員会としてはできるだけ通学区域は維持したいと思っていますが、全てがマンションになってしまうと維持は難しいと思っています。通学区域の変更をする場合、日本橋小学校や有馬小学校も余裕がないので、城東小学校や常盤小学校の特認校を廃止して通学区域の変更を行うことや、京橋地域の小学校も含めて変更していかなければならないことから、将来的な可能性はありますが、今の時点ではそれぞれの通学区域を維持していきたいと考えています。</p>
2	5月28日1回目	久松小学校の児童数が増えることがわかってきたなかで、いつ頃から今回の対応を検討してきたのですか。	<p>・児童数の推計に関しては毎年確認しています。35人学級化により教室確保が必要な小学校が、中央区のなかでいきなり増えました。35人学級化は今年度の4月、2年生から対応するものであり、1～2年の期間があれば、検討期間がとれたかもしれませんが、この影響によって、対応を見込んでいた年限が非常に短くなり急遽対応しなければならない状況です。</p> <p>・児童推計は、生まれたお子さまたちが小学校に入ってくる部分の推計は確度がありますが、これから生まれてくるお子さまたちの部分は、それまでの人口動態の傾向から予測するため、推計に多少のブレが生じます。</p> <p>・久松小学校は、増築工事により30学級規模に対応した一方、日本橋地域では想定以上の人口増加のため、1学年あたり1クラス分足りない状況です。これが1教室40人までのキャパシティで良いのであれば、おそらくここまでの教室不足にはならないため、運用のなかで何とか乗り切るといった期間がとれたかと考えています。</p>
3	5月28日2回目	現在の久松幼稚園は7クラスありますが、移転後の幼稚園は6クラスで足りるのですか。	<p>移転に伴い7クラスから6クラスになります。令和6年度に一括で移転する場合、令和4年度新入園児は現在の定員が70人のところ50人となり、20人少なくなります。久松幼稚園に入園できない方については、大変申し訳ないのですが、日本橋幼稚園や有馬幼稚園に入園していただく想定をしています。</p>
4	5月28日2回目	幼稚園に通う幼児の今後の推計はどのように想定していますか。	<p>・今後の幼児推計は、微増と予測し今後減少を見込んでいない状況です。</p> <p>・現在の久松幼稚園がそのままある前提での推計は、令和6年度に200人以上が久松幼稚園に在園する予測をしています。</p>
5	5月29日	<p>・久松小学校で不足する普通教室は、久松幼稚園のスペースを使うことですべて賄うことができるのですか。</p> <p>・教室数がさらに必要になった場合はどのようにするのですか。</p>	<p>令和10年度には8クラス不足する推計をしており、今の幼稚園スペースを活用することでそれは賄えると考えています。また、全体として学級数が増えることで、普通教室だけではなく、特別教室といわれる理科室や図工室といった特別教室も整備していく予定です。</p> <p>・現状の推計では8クラス増がピークと考えています。しかし、産まれていないお子さまの部分の推計は若干の誤差が生じてくると考えています。毎年推計を繰り返すことで、計画的に教室数の確保に取り組んでいきます。</p> <p>・仮に推計が非常に大きくぶれるようなことがあったときには、通学区域を含めた変更についても、選択肢として検討する必要があると考えています。</p>
6	5月29日	常盤小学校の通学区域内に住む幼児の数の推計の傾向とその対応を教えてください。	<p>・常盤小学校の通学区域に住む幼児の数は、今後も増えていく傾向ではないと想定しています。</p> <p>・通学区域内に住んでいる児童が少ないため、常盤小学校は特認校として運営しています。他の地域から希望される方が入るとい形になっているので、その人数を調整することで1学年2クラスを維持していくと考えています。</p>

番号	質問の出た日	質問	回答
その他			
1	5月18日	常盤幼稚園は、今どのような取り扱いになっているのですか。	現在休園中です。そのスペースを活用します。
2	5月18日	今回の保護者説明会はどのような位置づけの会ですか。	方針自体は教育委員会で決定したものをお知らせしています。通園に関する部分など、詳細な点については、皆様の意見を参考にして、対応できるところは対応していきたいと考えています。
3	5月18日	小学校や幼稚園に通っていない保護者の方からご意見を聞いていますか。	・今後、地域の方向けに説明会を開催します。小学校や幼稚園に通っていない子の保護者の方にも参加いただき、ご意見をいただけたと思っています。 ・保育園に通わせる世帯もいるため、この地域の小さなお子さまがいる世帯にお手紙を送るなど、こういった形でお知らせしたほうが良いのか、検討しているところです。
4	5月18日	今後、新たな質問が生じた場合のため、問い合わせフォーム等を作ってくださいか。説明会の参加を申し込んだメールアドレス宛てに質問を送ることはできますか。	・大変申し訳ありませんが、区ホームページの担当部署に確認し、問い合わせフォームが設置できないことがわかりました。 ・このため、説明会参加申し込みアドレスを、令和3年度中はご質問いただけるよう設定しました。
5	5月28日1回目	久松小学校の近隣の不動産屋さんでは、物件が久松小学校の通学区域内にあることを宣伝しています。小学校の教室が不足するほど生徒数が増えているのであれば、そのような宣伝を禁止することはできないのですか。	そのような話を行政としてどう伝えていくかは、難しい問題があると考えています。基本的にどこに住むのかは、個人の自由です。「久松小学校の児童数が今後も増えていくのでここはやめておこうが良い」という内容を伝えたいと思いますが、このようなことを区の施策として不動産業界の方にお伝えしていく手立てについては、かなり難しい部分があります。一方で、特に日本橋地域の場合は計画的な再開発ではなく、元々事務所だった場所が中小規模のマンションになるという、コントロールが難しい人口の増え方をしている状況があると思います。積極的に地域の不動産業界の方にそのような情報を入れたことはありませんが、行うことも難しいところがあると思います。行政としては、増えていく人口に対して何もしないということではなく、何とか今ある区の環境のなかで快適にお過ごしいただけるよう、行政サービスの充実に努めていかなければいけないと承知しています。
6	5月28日2回目	これまでの説明会で、久松幼稚園をなくしてほしくないという意見はありましたか。	肌感になりますが、「なくなって良い」という方はいないと思います。そのご意見は本当に尊重するものとし、地域の方々が学校に向ける愛情や思いを助けにして学校・幼稚園が成立しているという事実があります。教育委員会としては、こうした地域との関係を絶対に損ねないよう、引き続き地域の皆様に支援されながら良い学校・幼稚園運営をしていきたいと思っています。今回の方針の決定経緯や検討内容について、このような説明会を開くことでご納得いただけるような、誠意をもった対応をしていきたいと考えています。